

平成 2 5 年度

府中市地域包括支援センター  
業務チェック結果報告

地域包括支援センター泉苑

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	武蔵台・北山町・西原町・東芝町・日鋼町・美好町1,2丁目		
人口	25,003人	高齢者人口	5,617人
自治会数	57団体	老人クラブ数	9団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定福祉用具販売	特定福祉用具貸与
介護保険事業者数(延べ件数)	4	2	1	1	0	5	0	1	0	0	1	0	1	1

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

北山町、日鋼町は高齢化率が30%を超えている。都営住宅・UR分譲住宅が築30年余り経過しているため、エレベーターの無い集合住宅で、今後のさらなる高年齢化に伴って、高齢の市民が住居内に引きこもらざるを得ない地域でもある。

しかしながら、30年くらい前から民生委員、自治会を中心にしたネットワークが構築されている西原町も含め、地域住民自身による高齢者見守りの意識が非常に高い地域でもある。エリア内に、都立多摩総合医療センター、東京都多摩府中保健所・根岸病院があって住民の医療、保健に関して安心を得やすい環境でもある。

3 職員内訳(資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入)(平成25年11月1日現在)

	常 勤 職 員							非 常 勤 職 員					
	職員	職員	職員	職員	職員	職員		0.8	0.45	0.175	0.175		
資格	社会福祉士												
	保健師・看護師												
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー	主											
	介護福祉士												
	その他												

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

・高齢者地域支援連絡会については、以前は情報提供のみで終わってしまうことがありましたが、今年度は、参加者の意見を聞くための時間を設けるように改善されています。  
 ・二次予防事業対象者リストについては、市より提供される地区データリストを活用し、事業未参加者へのアプローチをしています。また、質問票未返信の方に対しても状況把握を兼ねて連絡を入れることを始めています。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

・北山町でのラジオ体操の取組等、地域での活動は一部評価できるますが、活動が未着手の地域については、引き続き取り組む努力を望みます。

総合コメント

事前のチェックシートにおいては、回答全体が昨年度と比較して低い水準となっていました。今年度センター長が変わり、包括全体の意識レベルがより自己に対し厳しくなったとの説明がありました。確認したかぎりでは、概ね昨年度と比較して変化は無いものと見受けられます。介護予防事業などを通じて、地域の元気な高齢者からボランティアを発掘し、要支援・要介護高齢者へのサービス提供等のお手伝いをしてもらうという発想は、大変良いと思います。引き続き実現へ向けて取り組んでください。  
 認知症サポーター「ささえ隊」養成講座については、その活用方法が具体化されていないように見受けられますので、小・中学生への講座などの企画・実施については引き続きの努力を望みます。

地域包括支援センターよつや苑

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	四谷・住吉町・分梅町・美好町3丁目		
人口	34,783人	高齢者人口	6,704人
自治会数	28団体	老人クラブ数	13団体

	支援	居宅介護	訪問介護	訪問入浴 介護	訪問看護	訪問リハ ビリ	通所介護	通所リハ ビリ	生活介護	短期入所 療養介護	短期入所 型通所介護	認知症対応 型通所介護	福祉施設 介護老人 保健施設	介護老人 用具販売	特定福祉 用具貸与	特定福祉
介護保険事業者数 (延べ件数)		7	7	0	2	0	6	2	1	1	2	1	1	1	1	1

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

<p><b>四谷地区</b></p> <p>中河原駅に近く、1丁目には新旧の住宅、2丁目には古くからの農家も残っており、戸建の借家やアパートもあり、昔ながらの地域の関係が残っている。3丁目は、40年ほど前に金融機関や警察、企業が行った宅地整備の分譲住宅が多く地域の中でも特に高齢化率が高い。4～6丁目は、古くからの農家や分譲住宅、市営住宅が点在している。高齢化率は15%である。</p> <p><b>住吉町地区</b></p> <p>中河原駅を中心にスーパーや商店が多く連なる中心部と、昔から田畑を所有する地主の家が並ぶ地域、その田畑をアパートやマンションとして再活用している地域、昭和30～40年代に造られた戸建、最近建てられた大型マンションと築40～50年の都営住宅群とが隣接する地域など、街ごとの特色がはっきり分かれていることが特徴的である。</p> <p>医療は、駅を中心に開業医が多く、恵仁会病院もあることから連携をとって救急時にも敏速な対応がなされている。</p> <p><b>分梅町地区</b></p> <p>高齢化率は街全体で、19.7%。都営住宅・市営住宅には高齢者も多いが、その一方で労働世帯やその子どもの数も多い。戸建住宅には古くからの住民が多く、戸建住宅とアパートでの高齢者数が多いことが特徴的である。分梅町1丁目には介護予防推進センターがあり、近隣の高齢者が各種教室に参加したり談話室を活用し、つながりの場となっている。この地域には、自治会の連合会があり青年会とも連携して神社でのお祭りや新年の餅つきなどのイベントを開催している。分倍河原駅近隣には商業施設もあり、生活するには便利なエリアで、活動的な地域である。</p> <p><b>美好町3丁目</b></p> <p>旧甲州街道を挟み農家を中心に発展した北西部と、戦後企業の進出により宅地化が進んだ南西部にそれぞれの自治会があり、それに派生して老人会がつけられた経緯がある。昭和30年代につくられた戸建に住む高齢者が多い。その一方で、アパートやマンションも小規模だが多く建ち、若い世代が多いという特徴もある(高齢化率15%と担当エリア内で一番低い)。</p> <p>3丁目には、歯科医や耳鼻科はあるが、総合病院や内科医がない。旧甲州街道沿いにスーパーはあるが、南西部には店舗や喫茶店など人の集まる場所がない。</p>
---

3 職員内訳（資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入）

（平成25年11月1日現在）

		常 勤 職 員								非 常 勤 職 員				
		職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員					
資格	社会福祉士													
	保健師・看護師													
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー		主						主					
	介護福祉士													
	栄養士													

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

- ・昨年度の課題で挙げられていた、「介護予防講座に関する周知」「新規受講者の増大」に対する取り組みを検討した結果から、自治会等にPRし、よつや苑が会場を提供し講座の開催を行っています。このことは、受講者からの相談にもつながり、周知等更なる期待ができます。
- ・包括内では、継続的に安定した個別支援が行えており、朝・夕礼時にケース等の報告の中で情報の共有化に努められています。
- ・継続的に地域に出向き関係性の構築を図り、ニーズ把握に努めたことにより、自治会同士の交流や世代間交流が実現できています。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

- ・ケアマネジャーに対する支援は整っていますが、ケアマネジャー同士やケアマネジャーと民生委員をつなぐ包括ケア会議等、柔軟な対応に期待します。
- ・家族介護者のニーズ把握に努めることも必要であり、更なる取組を期待します。

総合コメント

包括支援センターの基本となる役割を理解した上で、包括支援センター全体で情報の共有化を図る取り組みができていて、課題整理がしやすく、具体的な支援につながられています。

医療連携を要するケースが増えてきている中で、医療機関との連携が図れており、柔軟で即効性の高い対応が期待できます。また、更なる連携強化並びに新規開拓に期待します。

認知症や精神疾患、虐待等、複合的ケースが増加傾向にあり、医療機関同様、更なる連携強化を期待します。

地域包括支援センターあさひ苑

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	多磨町・朝日町・紅葉丘・白糸台1～3丁目・若松町1丁目		
人口	30,803人	高齢者人口	5,463人
自治会数	15団体	老人クラブ数	8団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定福祉用具販売	特定福祉用具貸与
介護保険事業者数(延べ件数)	4	6	0	1	0	4	0	1	0	1	1	0	0	1

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

朝日町は戸建て住宅が多く、長年住んでいる方とグランド跡地できた新興住宅の方がいるが、後者は自治会への加入が進まない。長年夏祭りを地域の公園で行っており、自治会が結束し、ボランティアの協力を得て、子供から高齢者へも配慮した内容での開催で毎年好評である。老人会は会長の後継者がおらず、継続を断念し解散となっている。

多磨町は独自の高齢者見守りネットワークを構築していて、1町会でまとまっている。老人会も様々な活動を行っていて、加入者は活発に取り組んでいる。町会や老人会に加入しない方も増えてきており、課題となっている。多磨駅周辺に小売店があるが、スーパーが無いことで、買物の不便さがある。

紅葉丘は1～3丁目の自治会、都営住宅の自治会がある。紅葉丘3丁目町会は、民生委員を中心に、自治会で交流サロンを月2回紅葉丘公会堂で行っている。資源回収の取り組みや運動会の開催や、町会だよりの発行、敬老の祝い等、地域に還元できる仕組み作りをしている。老人会は新規の入会者の伸び悩みがあるが、自治会、老人会、民生委員が協力し取り組んでいる。

白糸台1～3丁目は古くからの自治会が継続的に活動している。古くからの住民と比較的新しい住民がおり、高齢化率は低く予防的な活動が特に必要な地域である。白糸台地域は包括支援センターしみずがおかと2分している関係上、包括支援センター同士が協力して取り組む必要がある。

若松町1丁目はマンションが多く、高齢化率は低いですが、近隣との交流が希薄で、実態把握が難しいと自治会からの声もあり、今後の課題である。

3 職員内訳(資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入)(平成25年11月1日現在)

	常 勤 職 員							非 常 勤 職 員		
	職員	職員	職員	職員	職員	職員		0.4	0.4	
資格	社会福祉士									
	保健師・看護師									
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー	主			主					
	介護福祉士									
	その他(資格があれば記入)									

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

・ 昨年の課題の認知症サポーター養成講座については、ヒアリング後に中学校で講座を開催し好評を得ました。今年度は、校長の計らいにより四小、十小、白糸台小にも拡大され実施される予定で、小学生に合わせ寸劇を取り入れるなど工夫し、積極的に取り組んでいます。

・ 介護予防の一環として「応援隊」というボランティアを組織して、元気な高齢者がボランティアとして活動できる場の提供や、一人暮らし高齢者地域支援事業の「地域サロン」の開催により異世代の参加が可能な場の提供、元気高齢者に対する「ウォーキングの会」の開催など、地域に暮らす様々な人たちに合わせた地域づくりを意識して積極的に取り組んでいます。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

・ 災害時の地域での取り組みについて、民生委員や自治会、サービス事業者と共に、今後も継続した検討を望みます。

・ 高齢者徘徊者対策や消費者被害等については、警察や消防との連携を積極的に行い、高齢者が安心して生活できる地域になるよう期待します。

・ 予防プランの作成効率を重視にすることにより、常勤職員に関しては1人(主任ケアマネジャー)が担当していますが、包括支援センターの業務を職員全体が熟知して行なうためにも、センター内の情報共有をより一層効率的に行なう必要があると思われます。

総合コメント

古くから住む住民と宅地開発による新住民との混在している地区や、高齢化により自治会や老人会数の減少問題を抱える地区があるなど、地域の特性はバラエティーに富んでいます。総じて民生委員や自治会、老人会参加者の活動は活発となっています。そうした中でも、様々な方法による介護予防講座未参加者の掘り起こしや、元気な高齢者を対象としたイベントの企画運営、および介護予防の担い手として元気高齢者の活動の機会や場の提供など、積極的に取り組み、成果を上げています。今後の更なる活動を期待します。

また、総合相談対応等については、職員間の問題意識の向上により、社会資源情報に対する関心も高く、更に「対応が最善であったのか」と振り返りをする等、対人援助職としての向上心も高く、今後の活躍に期待します。

なお、5～6年間取り組んできた認知症の家族教室は、参加者の減少に伴い、今年度は他エリアで開催の「介護者の会」を紹介し、終息を図りましたが、長年培ってきたノウハウを今後の地域づくりに生かすことを望みます。

## 地域包括支援センター安立園

### 1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	晴見町・幸町・天神町・府中町・寿町		
人口	27,571人	高齢者人口	5,501人
自治会数	72団体	老人クラブ数	11団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	生活介護	短期入所療養介護	短期入所型通所介護	認知症対応型通所介護	福祉施設	介護老人保健施設	介護老人用具販売	特定福祉用具貸与	特定福祉
介護保険事業者数(延べ件数)	13	12	1	3	0	2	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1

### 2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

#### 晴見町

築年数の高い都営住宅や、公団の集合住宅が並んでおり、高齢化率約26%と高い地域。府中刑務所周辺は戸建てが多く並んでいるが、空き家も目立ってきている。地域活動は比較的盛んで、自治会によって防災訓練や見回り活動、ゴミ拾いなどを実施し、地域で交流を深めているところが多い。また、地域交流のきっかけ作りとして包括が積極的に関わっている地域。

#### 天神町

最近大規模なマンションが出来たため高齢化率が若干下がったが、戸建てで長く暮らしている高齢者が比較的多く、また空き家が多い地域でもある。市中心部から若干離れておりスーパーも身近にないため、日常生活に支障が出ている高齢者の相談も増えている。大きな自治会がいくつかあり、フェスティバルや防災など地域活動が活発なところがある一方で、実質活動していない小さな自治会も多く点在している。新町コミュニティ圏域になるため、新町文化センターを地域で利用する方が多い。

#### 幸町

農工大と府中公園に挟まれており、緑が多く閑静な住宅が比較的多い地域。公園近くの八百屋が高齢者のサロンのような存在になっていたり、自宅を改修して多世代の方が交流できるスペースを作ったりと、地域活動に熱心な方がいる。数年前から老人会から介護予防講座の依頼が入るようになった。

#### 府中町

市の中心部に近く、高齢化率が約14%と低い地域。中央文化センターがあり様々な催しを行っている。マンションが多く立ち、若い世代が増えたが、オートロックのところが多く、高齢者の見守りに支障が出てきている。エレベーターのない古いマンションも点在しており、相談も増えてきている。

#### 寿町

新築のマンションも多いが、お祭りなどを軸とした地縁のつながりが比較的強い地域。自治会や老人会がしっかり活動していることも多く、予防事業等に包括が呼ばれることも多い。



3 職員内訳(資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入)(平成25年11月1日現在)

	常 勤 職 員								非 常 勤 職 員				
	職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員		0.8	1		
資格	社会福祉士												
	保健師・看護師												
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー				主	主							
	介護福祉士												
	社会福祉主事												

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

- ・地域包括支援センターの活動の周知と自治会との関係を深めるために、様々な地域イベントに参加したり、包括のみの機関紙を発行し、各自治体・老人会に訪問して届けるなど積極的に取り組んでいます。
- ・介護予防事業を通じて関わりの薄い地域の自治会や老人会と関係を作り、熱中症対策や認知症予防などの勉強会を各地で開催するなど、効果的に事業を展開しています。
- ・介護予防事業を通じて届いた相談に対して、介護予防コーディネーターが解決できるものと介護予防コーディネーター以外の職種が関わるべきものを振り分けることで、迅速かつ適切な対応ができるよう努めています。また、このことにより介護予防事業も相談や見守り通報のツールとして機能できています。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

- ・介護保険サービスだけでなく、自治会や民生委員等の地域資源も介護プランに入れるようにする地域住民等をまじえたケア会議を開くなど、高齢者を地域で支えるという視点を取り入れた支援の展開を期待します。
- ・ささえ隊ネット登録者に対して、フォローアップ講座や懇談会を行うなど活用に向けた取り組みを実施してください。

総合コメント

担当エリアの地域特性をよく把握しており、特性に合わせたアプローチを心がけることによって、地域包括支援センターの役割の周知・啓発、自治体・老人会との連携の強化に成功しています。今後もぜひ継続することを期待します。

事例対応については、その日受けた相談は毎日全員で共有し、主担当者がいないときに事例が動いても対応できるようにして、利用者に安心感を抱かせる体制がとられています。困難事例に対しても、毎週包括内で検討を行うとともに法人内の居宅介護支援事業所とも事例検討を行うなど、職員のスキルアップに努めています。三職種の連携もよくなされており、多角的な視点が反映した支援が可能となっています。

介護予防事業に関しては、リピーターや口コミで来る方が多いということから、予防効果があるだけでなく市民が楽しみにするような講座が運営できていると評価できます。

一人暮らし高齢者等地域支援事業は「男暖クラブ」を定期的で開催するとともに、実施主体を市民に徐々に移していくなど事業の目的にかなった形で実践できています。

ヒアリングを通じて、職員ひとりひとりが真摯に業務に取り組んでいる様子が非常に伝わってきました。市民が安心して相談に行ける包括として存続することを期待します。

地域包括支援センターしみずがおか

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	八幡町、押立町、清水が丘、白糸台(4・5・6丁目)		
人口	28,525人	高齢者人口	5,794人
自治会数	32団体	老人クラブ数	11団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定福祉用具販売	特定福祉用具貸与
介護保険事業者数(延べ件数)	8	6	0	0	0	3	1	1	1	1	1	1	1	1

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の東南に位置し、調布市との市境では、調布市の介護保険事業所を利用する方も多い。</li> <li>・文化センター(高齢者福祉館)が地区内に1か所、隣接する地区に3か所、地域体育館2か所と公共施設が多く、高齢者自身が利用しやすいことと、また、高齢者のための事業開催場所としても活用しやすい。</li> <li>・交通の便が良いため、外出しやすい。(京王線4駅、ちゅうバス2系路、小田急バス)</li> <li>・老人クラブが町会に概ね1つあり、活動している。集合団地では会員増加しているが、戸建地区では会員減少傾向にある。</li> <li>・戸建地区は昔ながらのつながりがあり、団地の多い地区では新しいつながりを作るための取り組みを住民主体で検討している。</li> </ul>
--

3 職員内訳（資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入）（平成25年11月1日現在）

		常 勤 職 員						非 常 勤 職 員			
		職員	職員	職員	職員	職員		0.9	0.9		
資格	社会福祉士										
	保健師・看護師										
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー		主								
	介護福祉士										
	その他（資格があれば 記入）										

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

- ・今年度の活動計画に挙げられている、リスクがある高齢者の把握や早期対応に努めることについて、今年度は、特に家族や近隣等から、見守り依頼の相談が寄せられるようになってきている様子がみられました。このことは、包括支援センターの役割周知に努めており、地域の組織や団体、近隣との情報交換ができています。
- ・権利擁護業務に関して、「権利擁護センターふちゅう」と連携しながら、介護予防講座や、地域支援連絡会の中で、「未来ノート」についてのPRを行なっています。
- ・昨年度の課題の中で、自治会等の継続的な支援について挙げられていますが、今年度は、一人暮らし高齢者地域支援事業としてサロンの立ち上げに関わり、自治会等との連携が深められていました。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

- ・昨年度に引き続き、ささえ隊ネットの名簿活用について、登録者に対する声かけや啓発ができると良いと思います。今後は、仕組み作りを検討していく必要があります。
- ・地域の医療機関との連携が不十分で、包括支援センターを知らない医師がいます。まずは、包括支援センターの周知を行うことが必要であると思います。

総合コメント

昨年度まで地区担当制をとり、工夫した運営を行っていましたが、今年度は廃止されました。電話で始まる相談など様々で、常に地区担当者が在席していることではないため、初回の相談票を誰が見ても対応できるよう工夫し、見直しを行うことにより、職員間でより良い連携が図れています。また、昨年は、予防プランを担当する職員に偏りがありましたが、業務分担の見直しが図られ、プラン以外の相談業務等にも関わっており、職員間の更なる連携を期待します。職員間のミーティングも活発に行なわれており、ケースの共有やスキルアップのための研修など職員育成も行なわれています。

地域の組織や団体との連携も深められており、一人暮らし高齢者地域支援事業にも力を入れています。地域住民のニーズに応え、立ち上げからの支援、その後の相談体制も確立されており、今後も継続し、より良い関係の構築に努め、そのような場を通して、包括支援センターの周知に努めてください。

地域包括支援センターかたまち

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	片町・宮西町・宮町・本町・矢崎町・日吉町		
人口	21,352人	高齢者人口	3,775人
自治会数	46団体	老人クラブ数	15団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定福祉用具販売	特定福祉用具貸与
介護保険事業者数 (延べ件数)	6	9	1	2	0	2	1	0	1	0	0	1	2	1

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

旧甲州街道、府中街道に近いところは交通アクセスが良く、中央にある遊歩道は地域住民の散歩コースになっている。

中心部には商業施設とテナントビルが多く、他エリアと比較すると人口が少ない。全体の高齢化率は低いが、高齢者単身世帯数が高いのが特徴。一戸建ての多い地域に比べ、大型の集合住宅がある地域の方が高齢化率は低い。

もともと地元に住んでいた住人同士の関わりが強く、転入してきた人たちの関係づくりが進まない地域がある反面、新しく建つマンションの規約に、自治会への加入をお願いする文言を入れて、その結果加入者を増やしている自治会もある。

徒歩圏内に、スーパーやコンビニ、クリニック、診療所、薬局があり便利で市役所へも行きやすい環境が、逆に地域との付き合いを希薄にしている要因とも考えられる。

3 職員内訳（資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入）

(平成25年11月 1日現在)	常 勤 職 員							非 常 勤 職 員				
	職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員	0.8	0.3			
資格	社会福祉士											
	保健師・看護師											
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー	主										
	介護福祉士											
	その他(資格があれば 記入)	福祉士 精神保健						1級 ヘルパ 生士	歯科衛			

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

- ・昨年度の課題2点については、計画的に取り組み、進展しています。広報誌「かわらばん」を切り口に新たな自治会へのアプローチ、77歳の長寿訪問祝い者への戸別訪問等、かたまち包括の特徴ある取組を継続し効果をあげています。また、地域支援連絡会に参加した自治会の数が昨年度より増えています。
- ・朝夕の定期朝礼、ケースカンファレンス、年6回の包括内研修や月2回のミーティングにおいて、職員のスキルアップのための知識共有や3職種の協働ができています。
- ・高齢者地域支援連絡会において「地域マップ作り」や「防災イメージトレーニング」など目的意識を持ったテーマ設定が実施されています。
- ・二次予防事業対象者に対し送付物や講座内容の工夫を行い集客活動をしており、予防事業を包括全体で取り組む姿勢が伺えます。
- ・担当圏域のケアマネジャーの状況把握について、昨年度より把握状況が良くなっています。また、もの忘れ相談医との連携が密に取れています。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

- ・スーパービジョン等による職員育成体制を充実させるように取り組んでください。
- ・ケアマネジャーとの連携体制への取組をしてください。
- ・年度計画にある男性を対象とした介護予防講座のさらなる企画に取り組んでください。

総合コメント

地域特性に合わせた各地域住民への取組を工夫して行い、「地域づくり」「地域のつながり」を意識したアプローチで包括支援センターを拠点とする地域づくりに前向きに取り組む姿勢が感じられます。新しい自治会との関係構築に効果をあげ、また、「地域マップ作り」等による地域情報の整理についても住民とともに取り組んでおり、今後も継続して実施してください。

介護予防事業については、介護予防コーディネーターを中心に包括全体で取り組む姿勢が伺えます。介護予防コーディネーターの役割を再確認し、より効果的なアプローチが出来る様、他センターの活動状況等も参考に主体的に取り組んでください。また、介護予防支援専門員との新たなネットワーク構築に向けての取組についても、全包括に呼びかけ新たな体制構築に向け、積極的に先導していくことを期待します。

今後も包括職員の連携を密に、地域に密着した質の高い包括支援センター業務を継続してください。

地域包括支援センターしんまち

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	新町・栄町		
人口	15,029人	高齢者人口	3,886人
自治会数	77団体	老人クラブ数	8団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定福祉用具販売	特定福祉用具貸与
介護保険事業者数(延べ件数)	2	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

新町・栄町は市内の北に位置し、小金井市・国分寺市と隣接している。東西に横長のエリアであり、公共交通機関は南北のバスはあるが、東西の移動には不便を感じる地域である。当包括支援センターは東に位置するため、栄町在住の方には不便さがある。また、地域には公共の施設が少なく、新町文化センターと栄町体育館が主なものとなる。包括支援センターが催しを行う場合も、地域の方が自主的に集う場合も、場所の問題が課題となっている。

新町・栄町は市内でも高齢化率の高い地域である。(新町24.8% 栄町27.8% エリア25.9%) また、高齢者世帯の1/4が単身世帯となっている。古くからの都営住宅(新町5 栄町7)・市営住宅(新町2 栄町1)が多く、各地域での高齢化も深刻になっており、老人クラブ・婦人会等の見守り活動が行われている。自治会でも課題となっているが、どのようにしたら上手くできるかを悩みながら取り組んでいるのが現状。

新町・栄町は以前から介護保険事業所が少なく、市内遠方の事業所の協力も得ながら連携している。近隣市との連携も出来るとよいと思われるが、情報収集はできていない。

3 職員内訳（資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入）

(平成25年11月1日 現在)		常 勤 職 員							非 常 勤 職 員			
		職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員	0.7	0.65	0.65	
資格	社会福祉士											
	保健師・看護師											
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー				主	主						
	介護福祉士											
	その他(資格があれば 記入)	福祉士	精神保健			士	歯科衛生	福祉士	精神保健			

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

・全自治会へ挨拶を行い、包括の周知を行っています。地域支援連絡会に参加できなかった自治会に関しては、報告書を渡し、次の参加に繋げるきめの細かい取組を行っています。

・今年度より地元商店会に加入し、地域の行事に積極的に参加しています。ハロウィンでは、子どもたちにお菓子、親には包括のパンフレットを渡し、包括の周知を行いました。また、商店会への加入により地域の方々との面識も増え、新ケースへのつながりも得られています。

・記録の点で、日々は手書きの報告書・システムへの入力を行い、また、ケースの進行管理表を作成し、職員が誰でもケースを確認・把握できるよう努めています。

・今年度は、虐待対応に関し、東京都や社会福祉士会の研修受講を行い、研修内容に関し包括内で共有し、スキルアップに努めています。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

・相談業務が増加（2～3割増）しており、その業務多忙につき社会資源への働きかけに関しては現状として、できていないという認識があります。ヒアリングを実施し、自治会や地域等に関する働きかけは、積極的に取り組んでいると思われませんが、包括自身が持つ課題意識を大切にし、地域資源への働きかけを充実させてください。

総合コメント

包括支援センターとしての基本業務の他、推進事業も内部で行っているため、活動が多岐にわたり多忙ですが、推進事業を通じての相談が入ったり、また、逆に包括のPRを効果的に行うことができ、一体的に業務を遂行できています。

商店会に加入したり、自治会への働きかけをきめ細やかにしており、地域とのつながりに力を入れている点については大変評価できます。そうした取り組みの結果から、今年度、相談件数が増加しており、重いケースに関した相談も多く、対応に苦慮する点もあるかと思われませんが、権利擁護センターや保健所、市役所の各部署等の関係機関をうまく活用し、対応にあってください。

介護予防教室等の開催のための会場確保や、介護保険に関する事業所も少ない地域ですが、関係機関と連携をとり、対応に苦労しつつ、業務を遂行しています。市としても包括に対し、協力を行っていきませんが、今後もしんまちエリアとして地域とのつながりを大切にしてください。

地域包括支援センター緑苑

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	緑町、浅間町、若松町(2~5丁目)		
人口	22,269人	高齢者人口	3,846人
自治会数	34団体	老人クラブ数	5団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定福祉用具販売	特定福祉用具貸与
介護保険事業者数(延べ件数)	2	4	0	0	1	4	1	1	1	0	1	1	1	1

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

担当エリアには、1か所の都営住宅と高齢者専用住宅やすらぎ2か所を抱えている。

緑町については、府中市八幡町から移り住んだ方や新しく住宅を購入した方が在住する。土地柄、府中市の中心という事もあり所得の多い方も多い。主たる団体は4自治会、老人会2団体、婦人会1団体である。高層マンションも多く建ち始めており、人口も多くなる傾向にある。高齢者人口が多いだけでなく、第二小学校は児童数が多い。浅間中学校においては青少年対策委員会も活発に活動している地域である。府中の森公園では自主的にシニアの方々が高齢になるための活動をするなど、グループが多く活動している地区でもある。

浅間町については、府中市中心部から離れている事もあり、昔から自ら地域の課題を解決する為の行動力のある地域で、自治会、老人会、婦人会と各団体が協力のもと地域づくりに取り組んでいる。特に浅間山を抱える地域として、山に関する事での人間関係が強く根付いている。また、各自治会が新しく建つ住宅については、必ず自治会へ入るように自治会が複数にならないように地域のまとまりを常に考える地域である。浅間町の自治会を中心に防災組織も形成され、年に数回の地域合同防災訓練も行われている。商工会については、地域のお祭りとしてハロウィン祭りも高齢者から子供達まで幅広い活動を展開し、顔の見える関係作りを目的に開催している。

若松町(2丁目~5丁目)は、介護老人保健施設や有料老人ホームがあり、人見街道を中心に北と南にわかれている。昔からの地主が多く、自治会が熱心に活動している地区もある。ただ、賃貸アパートなども多く、なかなか関わりを持たない部分も反面みられている。

府中市内で第1地区については、高齢化率が低い地域として知られ、特に若松町については、40歳から64歳の人口が多いのが特徴であり、今後その方たちが高齢期を迎える事から介護予防事業や見守り事業の重要性とそれに伴う周知、事業の実施が重要となる。



3 職員内訳（資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入）（平成25年11月1日現在）

	常 勤 職 員								非 常 勤 職 員				
	職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員	1	0.6	0.4	0.2	
資格	社会福祉士												
	保健師・看護師												
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー			主		主							
	介護福祉士												
	精神保健福祉士												

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

- ・昨年度より担当地区となった若松町地区に対しての包括支援センターの周知活動について、地域支援連絡会や包括ケア会議等を通して強化を図っており、民生委員や自治会との関係ができています。また、地域の課題も把握し、新たな社会資源の開発や、課題改善に向けた活動を積極的に行っています。
- ・緑苑地域交流スペースを、高齢者の居場所作りだけではなく、子どもを含めた若年層にも事業や昼食会等で開放しており、多角的な視点での地域づくりをすすめています。
- ・包括内では、朝と夕方のミーティングと、週1回の事例検討会等でケースを共有・管理し、包括内での情報共有に努めています。
- ・包括ケア会議を計画的に実施しており、ケアマネジャーとの連携が図れています。
- ・介護予防事業を切り口としたケースアプローチにより、その先の支援につなげることができています。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

- ・若松町地区に対し、民生委員や自治会とのつながりを更に深められるよう努め、個別ケース支援への連携が図れるよう取り組む必要があると思います。
- ・認知症サポーター養成講座について、学校等の受講対象者の拡大と、講座受講後のサポーター活動についての取組が今後必要であると思います。
- ・支援困難事例の報告等、高齢者支援課との連携をより一層図るよう改善してください。

総合コメント

個別ケースの支援方針や進行管理について、包括支援センター全体で共有し、ケースの切れ目のない支援ができています。特に3職種がそれぞれの役割を発揮した対応ができています。今後、医療依存度の高いケースや、医療連携が必要なケースが増加することが予想され、医療職のみならず、包括支援センター全体として医療と介護の連携に取り組める体制づくりに期待します。

地域づくりに関しては、個別ケース支援より発掘された地域課題の解決への視点を持った活動ができており、エリア全体で更に活動を促進させて、その成果に期待します。

地域特性として、シニア世代の多いエリアであり、高齢化率が確実に高くなる地域です。緑苑地域交流スペースを有効的に活用し、若年層からの包括支援センターの周知活動を継続してください。また、今後、要介護高齢者も増加することが予想されるため、包括支援センターの周知活動だけではなく、介護予防事業や認知症対策事業等への積極的な取組を期待します。

地域包括支援センターにしふ

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	西府町、本宿町、日新町		
人口	16,433人	高齢者人口	3,048人
自治会数	12団体	老人クラブ数	5団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定福祉用具販売	特定福祉用具貸与
介護保険事業者数(延べ件数)	5	0	1	1	1	4	1	3	0	2	1	0	0	0

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

西府町地区と本宿町地区は、南北に走る鎌倉街道と東西に走る甲州街道により、5地区・6地区と生活圏域が分けられている。西府町地区・日新町地区の西部は、国立市との市境となっている。どの地区も、かつては農業を営んでいた家が多く、大きな田畑が残っていたが、現在は、宅地や事業所用地に変わっている。日新町地区は、日本電気(NEC)の府中事業場がある。

地域性として、大国魂神社の「くらやみ祭り」や熊野神社の例大祭を軸とした氏子としての地縁が強い。また、三つの地区は西府文化センター圏域のコミュニティ協議会に属し、文化センター祭りや輪投げやペタンクなどの競技会を行っている。

平成22年3月、地域住民が熱望していたJR南武線の「にしふ駅」が開設した。現在も、駅の北口周辺は開発途中の段階であり、マンション建設を行っている。駅ロータリーを経由するバスの乗り入れ本数が少なく、電車を降りてからの移動手段が少ない。来春には、スーパーマーケットの建設が予定されているが工事の進捗が遅れている様子もあり、依然として不便が多い。

担当エリア内の老人会クラブは5つで、約450名の高齢者が入会し、活動を行なっている。

現在、エリア内に認知症対応グループホーム(2か所)、地域密着型サービス事業所(1か所)、精神障害者地域ケアセンター(1か所)、高齢者専用住宅(1か所)、通所介護事業所(3か所)、特別養護老人ホーム(1か所)、NPO高齢者サロン(1か所)が、事業を展開している。

現在、包括にしふ担当エリアの高齢化率は、18.5%である。

3 職員内訳(資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入)(平成25年11月1日現在)

	常 勤 職 員							非 常 勤 職 員			
	職員	職員	職員	職員	職員	職員					
								0.8			
資格	社会福祉士	○	○	○							
	保健師・看護師										
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー	主	○	主	○						
	介護福祉士	○		○							
	その他(資格があれば記入)		社 士	精 神 保 健 福			ヘルパー 2級				

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

- ・昨年度の課題であった、医療職の不在に関しては今年度は定着がみられ、3職種の連携が定着しつつあることが認められます。
- ・一人暮らし高齢者等地域支援事業については、地域の中でも定着しつつあり、展開の構想をもって取り組んでいます。
- ・民生委員や自治会とのつながりは維持しつつ、適度な距離感を保ちながら、地域のマンパワーの育成をはかっていく姿勢がみられます。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

- ・関係機関との連携については、取り組んではいるものの、複雑・多様化するケースが多いため、さらなる良好な連携体制への取り組みが望まれます。
- ・昨年度から引き続きの課題である包括内での事例検討の実施については、職員のスキルアップや多角的な視点での支援を行うためにも、ぜひ前向きに取り組んでいただきたいと思います。
- ・認知症高齢者を地域で支える基盤として、サポーター養成講座の多世代や多機関へのさらなる働きかけが必要です。

総合コメント

一昨年から継続している課題等については次年度以降の計画に盛り込み、少しずつでも計画的に実施していくようお願いをします。

担当地区の状況分析は的確にされていますが、今後変化が予想される地域も含まれるため、現状把握している課題やニーズをふまえ、事前の対策や取組みを計画的に実施できるように、既に連携がとれている地域支援連絡会等以外にも、今後さらなるネットワークを構築していただくことを期待します。

介護予防事業については、包括内で介護予防コーディネーターと事業担当者が有機的に連携して実施されており、今後さらに充実した事業展開を期待します。

地域包括支援センターこれまさ

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	是政・小柳町		
人口	21,956人	高齢者人口	4,288人
	22団体	老人クラブ数	10団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定福祉用具販売	特定福祉用具貸与
介護保険事業者数 (延べ件数)	2	1	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

地区全体は住宅地に所々田畑が点在、多摩川が市境に流れている。医療機関は病院が1か所、医院6か所、大型スーパー1か所で店舗は少なく利便性は悪い。競馬場に隣接し競艇場があるのも特性といえる。バスや電車を使い市内中心部や他市に出かける人も多い。

是政地域は古くからの居住者も多く地元意識が強い。エリア内にある八幡神社を中心とした村意識が残っている。自治会や老人会も開かれた組織とはならず、一部世襲制のようなところもあり、明治時代から住み、地元の小、中学校を卒業しないと地域住民として認めないとも言われている。地域全体の閉鎖性は否めずサービスや新しい情報は入りにくいが地元を大切にする風潮は見られる。一方では大型マンションの増加が高齢化率を抑えている。約550世帯を超えるマンションが高齢者世帯は1割にとどまり子育て世代が中心である。地域包括とは祭り等の行事を通じ、円滑に協力関係が構築されてきた。他のマンションにも回覧や掲示等により啓発活動を行っている。このような環境のなか、住民層は二極化し新旧住民の交流の機会が少ない。

小柳町はマンションのような大型集合住宅は少ない。大半は戸建住宅であるが最近はワンルーム形式のアパートも目立つ。約40年前に分譲された戸建住宅は一様に高齢化している。介護問題の相談も多いが総じて住民の問題意識は高い。毎年、小柳町内会が結集し「小柳五町会」としての活動を行っている。防災、防犯などをテーマに年1回、交流を含めたイベントを計画、約3~400人の住民が集まり交流する。昨年度より包括も地域交流の一環として参加、啓発に努めている。

小柳町の高齢化率は確実に高くなる傾向だが、是政は新住民の流入で横ばいが続く。それぞれの地域特性を活かしながら交流サロンを開催している。自治会、老人会関係者、地域ボランティアの連携が一歩ずつ進み始めたところである。

3 職員内訳(資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入)(平成25年11月1日現在)

	常 勤 職 員								非 常 勤		
	職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員	職員	0.3		
資格	社会福祉士										
	保健師・看護師										
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー			主							
	介護福祉士										
	その他	主事	社会福祉	主事	社会福祉					栄養士	

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

・改善された点  
介護予防の普及啓発活動の担い手養成のために、月1回講師を招きパワーアップ講座を開催することで地域のリーダーになりそうな人材を育成しています。

・よく取り組んでいる点  
認知症サポーター養成講座の対象を幅広くしたことで啓発活動が順調です。中学生の講座は言葉を簡潔にし、参加型にするなど身につけやすい工夫して実施しています。  
一人暮らし高齢者等地域支援事業は、2年目に入り、住民主体になっている「コミュニティカフェこれまさ」は毎回参加を楽しみにしている方が多く、地域に浸透したといえます。また「こやなぎサロン」は9月に発足し、住民主体のネットワーク作りがうまく動き出しているといえます。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

・閉鎖的な地区や介入が難しいエリア(是政3丁目や市営住宅等)も、うまく行っている地域のように、徐々に関係を作るよう望みます。

・一人暮らし高齢者等地域支援事業について、協力を依頼されているサロン等については、地域に根付くコミュニティになるよう支援していくことを望みます。

総合コメント

包括支援センターの開設以来、積極的に地域のイベント等で地域包括支援センターの周知や関係性を深める努力を行っている点は素晴らしいです。顔つなぎができていく地域からは様々な情報が入ってくるため、迅速な対応が出来る体制が完成しています。

サービスセンターがないことをメリットと捉え、予防から包括への線引きをグラデーションのように分断なく支援することを可能にし、ケースの早期発見、早期対応に取り組んでいますので、今後の更なる活動に期待をします。

昨年度課題になった事案について、問題を分析し、積極的に問題解決に取り組んでいる姿勢が伺えます。

地域包括支援センターみなみ町

1 基礎情報

(H25.10.1現在)

担当地区(町名)	南町		
人口	8,906人	高齢者人口	2,177人
自治会数	9団体	老人クラブ数	5団体

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	特定福祉用具販売	特定福祉用具貸与
介護保険事業者数(延べ件数)	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0

2 地域特性(高齢者に係るフォーマル、インフォーマルの地域特性)

町内に医療機関は2か所、地域の高齢者が多く通っている一般内科、小児科がある。介護保険サービス事業所は訪問介護、居宅介護支援事業所、通所サービス事業所がある。大通りにはバスが通っているが、地域内部までは公共交通機関が通っていない為、バス通りまで徒歩で移動して府中駅や中河原駅まで買物や通院に行く方が多い。それ以外の移動の手段では徒歩や自転車利用。

昔からの一般住宅、公営集合住宅では高齢化が進んでいる。以前まで空き地や畑だった所に新しい住宅が建ち始め、小さな子どもがいる若い世代も住み始めるようになってきている。自治会数は9団体、通り一本をまとめた小さな自治会から、大人数を抱える大きな自治会まである。各自治会の特徴では1000世帯を超える大きな自治会は、班を作り活動している。定期的に班で話し合いを行い、行事等は合同で企画、開催している。通り一本の自治会は、元々大規模自治会に入っていたが、マンションが建ち世帯数が増えたことから独立した自治会として活動するようになった。一本の通りをまとめる小さな自治会の為、人数は少ないが、地域同士の見守りを推進するため、昨年9月から、週末を除く雨の日以外は公園でのラジオ体操を行っている。高齢者中心で活動しているが、地域での世代を越えた交流を意識していて、餅つきやその他の行事の時には子どもや若い世代の両親なども参加している。その他の自治会も地域防災訓練や祭等を通して地域住民同士の交流は多少ある。都営住宅の建て替えがあり、築40年以上のエレベーターの無い古い住宅からエレベーター付きの高層住宅に変わっている。都営住宅においては高齢化も進んでいて殆どの方が自治会役員などを担えないような状況。何とか役員を選出して自治会登録しているが、自治会活動としては美化清掃等のみ。

3 職員内訳(資格:対象に 非常勤は、常勤換算で何人分かを記入)(平成25年11月1日現在)

	常 勤 職 員							非 常 勤 職 員			
	職員	職員	職員	職員	職員	職員		1	1		
資格	社会福祉士										
	保健師・看護師										
	ケアマネジャー 主任ケアマネジャー			主							
	介護福祉士										
	その他(資格があれば 記入)										

4 ヒアリング結果

改善された点 よく取り組んでいる点

- ・ケース対応等の訪問調査をするときは2名で行い、複数の視点で情報を得られるようにしています。また、ケース情報を三職種で共有し、対応することができています。
- ・近隣の医療機関とケース対応を通じて、よい関係性を構築しつつあり、相互に相談や情報提供等の連携ができています。
- ・包括全職員の個人情報保護に関する意識が高く、今後も継続した取り組みに期待します。
- ・職員育成のため、職員に対し、レベルアップのために必要な研修を受講できるよう配慮し、職員のレベルアップを図っています。また、研修受講後には受講内容をミーティング等を利用し、職員同士で共有化を図っています。

改善が必要な点 取り組みが必要な点

- ・マンション住民や自治会未加入者とのネットワーク構築の取組に工夫が必要であると思われる。
- ・自主的にラジオ体操をする組織はあるものの、圏域のインフォーマルサービスが十分に整備されていない現状となっているので、活動する気持ちのある個人・組織化された場合の支援の検討も今後必要になってくると考えますので改善をこころみて下さい。
- ・ケース終了の判断や終了後の振り返りの見直しを計ってください。

総合コメント

地域とのネットワーク構築では、マンション住民や自治会未加入者との構築の取り組みに工夫をすることで、既に構築されている戸建て住宅の住民とのネットワークが有機的になると期待しています。

また、地域特性として、高齢化率が高いことが挙げられますが、昨年度から高齢者の孤立死予防検討会を実施するなど地域住民のニーズに合わせ働きかけをしているので、今後も更なる働きかけを行うことを期待します。

ケース終了の判断は、ケアマネジャーにつなぎサービスを受け始めた時としているので、サービスを利用しても関わりを切らないことが求められます。なお、終了以降の振り返りは不定期にケアマネジャーと会った時や電話時に情報交換をしているので、定期的な振り返りも検討する必要があるので、改善を試みて下さい。

職員のスキルアップでは、積極的に研修を受講し、職員内で共有するほか、他の包括との合同勉強会を行うなど力を入れているので、今後も継続していくことを期待します。

また、新規職員を迎えたことで包括全体で更なるレベルアップを期待します。

